

支え合い、共に生きる

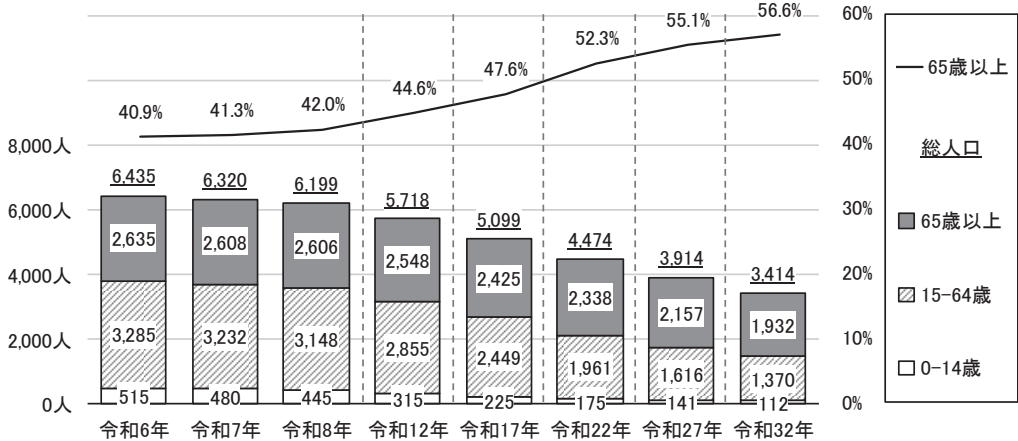
高齢者を取り巻く環境と課題

町の高齢者人口は年々減少する見込みですが、0～14歳の年少人口と15～64歳の生産年齢人口の減少の幅が大きいいため、高齢化率は増加を続け令和22年には50%を超えることが予測されます。特に今後は要介護認定を受けることが多い75歳以上の後期高齢者の割合が増加することが予測され、介護サービスの供給が需要に比べ不足する懸念もあります。

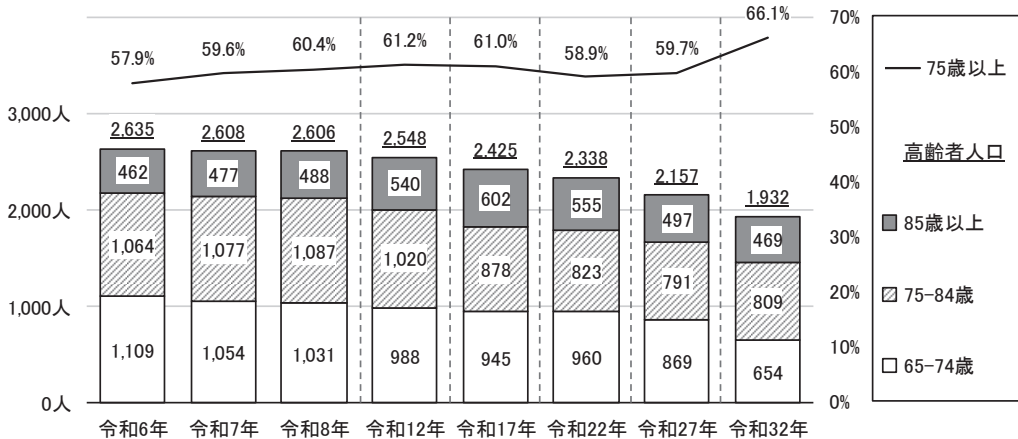
公的な支援と民間の支援が一体となって高齢者の暮らしを支えていける地域づくりを充実させていくことが重要です。

町では、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、様々な取り組みをしています。

【推計人口】

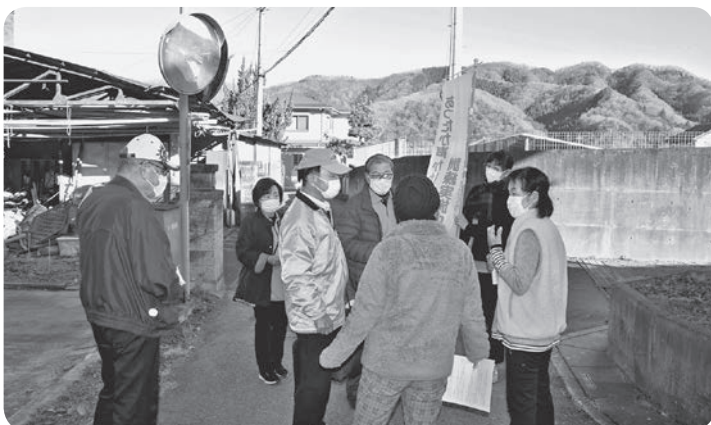


【高齢者人口の推計】



出典：第9期長瀬町介護保険事業計画 ※各年10月1日現在

支え合う地域づくりのための取組



【あったか声かけ訓練の様子】

〈生活支援体制整備協議体「ささえ愛ながとろ」〉

生活支援・介護予防サービスの体制整備に向けて、様々な立場の人たちの意見を反映して、取り組みを推進するために生活支援体制整備協議体を設置しています。区長経験者、サロン関係者、ボランティア団体、老人クラブなどから、支え合いの地域づくりに協力いただける方に委員を委嘱しています。

地域の課題について話し合い、講演会の開催や、声かけ見守り活動の推進、居場所づくりへの支援など、住民の立場でできることに取り組んでいます。